

NEWS RELEASE

令和4年3月22日

お客様へ

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

栃木銀行と日本政策金融公庫が連携して創業者を融資支援 ～創業支援融資「とちぎん創業たまご資金」取組み事例～

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本 淳之介）は、株式会社日本政策金融公庫（略称：日本公庫）宇都宮支店国民生活事業との協調により、創業者向け協調融資商品「とちぎん創業たまご資金」を活用して地域の訪問看護サービスの充実に資する創業者への融資支援を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

引続き、当行および日本公庫は、地域経済の発展に向け積極的な創業支援を実施して参ります。

記

【支援先の概要】

企業名	合同会社 綾霞（あやか）
代表	代表社員 三上 綾子（みかみ あやこ）
店舗住所	栃木県那須烏山市神長474番1
業種	訪問看護事業所
ご融資年月	令和4年2月

【事業内容】

看護師や理学療法士・作業療法士等が利用者のお宅に訪問し、医療的ケアを提供するサービス。小児・難病・障がい特性に精通したスタッフが在籍し、幅広いサービスの提供が可能となっております。紙媒体で看護記録を取っている事業者が多い中、ICT化の推進（タブレットでの看護記録作成等）により、業務効率の向上を図っています。（令和4年4月1日オープン予定）

【創業の経緯】

- 代表者が高校生の頃に障がい者がからかわれた後に周囲の人を敵視した場面に遭遇。その時、多様性を受け入れる社会が必要と感じ、障がい福祉分野に携わる目的で看護師となりました。
- 小児・障がい福祉分野・在宅医療の経験を積み、前勤務先においては管理業務や行政との政策立案などにも携わる経験をしましたが、地域格差は埋まらない状態であり、雇用される立場での取組みに限界を感じ独立開業に至りました。

NEWS RELEASE

- ・赤ちゃんからお年寄り、障がいや病気があっても、当たり前暮らしを住み慣れた場所で営み続けられるように、公的制度、制度外サービスでサポートしながら多様性を受け入れる地域を目指します。働き手の充実度も高められるように努力します。(代表社員 三上 綾子氏談)

【協調融資までの経緯】

- ・介護サービス専門コンサルタントのアドバイスを基に、開業資金を含めた事業計画を策定後、日本公庫に資金調達の相談で訪問。当行（烏山支店）へは、法人口座開設のために来店し、開業予定のお話を伺った窓口行員が「創業サポート窓口」にご案内。
- ・当行担当者がヒアリングを通じ、将来の地域福祉の充実に必要な事業であると判断し資金調達を含む創業支援（設備機器導入におけるリース活用や業務効率化を図る上でのインターネットバンキング利用等）の提案を行い、日本公庫へ同社の協調融資について連絡。金融機関同士で連携し情報交換を行ったことでスムーズに対応することができました。